

新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言に係る市民活動団体アンケート調査集計結果

■ 調査の概要

- ・調査期間: 令和2年5月21日～6月3日
- ・方法: メールで対象者へお知らせのうえオンラインの回答フォームから回答
- ・対象
 - ・2019年版「地域デビュー手引書(活動団体紹介編)」掲載団体のうちメールアドレスの登録がありメールを送付できた団体(170団体)
 - ・過去の「地域デビュー手引書(活動団体紹介編)」掲載団体のうちメールアドレスの登録がありメールを送付できた団体(23団体)
- ・回答数: 150団体

■ 質問項目

【問1】緊急事態宣言下で、活動に変化があったか？

- ①変化があった、②変化はない

【問2】問1で「①変化があった」と回答した場合、具体的にどのような変化があったか。

【問3】緊急事態宣言下で、工夫して活用した方法は？(複数選択可)

- ①オンライン会議等インターネットを活用した方法、②書面会議、③3密を避けた活動、④屋外等での活動
- ⑤集まらないでできる範囲の活動、⑥その他()

【問4】コロナ後、活動に変化があると思うか？

- ①変化があると思う ②変化はなく、コロナ前のように戻ると思う

【問5】問4で、「①変化があると思う」と答えた場合、どのような変化があると思うか？(複数選択可)

- ①オンライン会議等インターネットを活用した方法、②書面会議を活用した方法、③その他()

■ 【回答(選択項目)】

【問1】緊急事態宣言下で、活動に変化があったか？

①変化があった	②変化はない
142	8

【問2】問1で「①変化があった」と回答した場合、具体的にどのような変化があったか。

- ・(大多数が)活動の自粛、休止
- ・利用施設の休館で活動休止
- ・活動場所を閉鎖して、すべての活動を中止した。
- ・3月以降の練習はすべて中止し、本年11月に予定していた定期演奏会も延期した。
- ・三密状態を招かないよう体部状態にしている。
- ・会議の電磁方式への変更、業務時間短縮等
- ・対面授業から、オンライン授業+自習室開放+食糧支援へと活動をシフトしました。

【問3】緊急事態宣言下で、工夫して活用した方法は？(複数選択可)

①オンライン会議等インターネットを活用した方法	②書面会議	③3密を避けた活動	④屋外等での活動	⑤集まらないでできる範囲の活動	⑥その他
46	34	31	5	35	36

- ・電話による近況確認と健康相談。ユーチューブによる体操動画の配信閲覧。
- ・総会は書面承認
- ・自主トレーニング
- ・会員に電話と郵送で連絡
- ・オンライン活用なんて高齢者には無理。解消後に誰かが体調狂わせてないか心配

【問4】コロナ後、活動に変化があると思うか？

①変化があると思う	②変化はなく、コロナ前のように戻ると思う
112	38

【問5】問4で、「①変化があると思う」と答えた場合、どのような変化があると思うか？

①オンライン会議等インターネットを活用した方法	②書面会議を活用した方法	③その他
37	19	64

- ・3密を避けた活動(参加人数の制限など)
- ・3密を避ける使用方法。まつりなどの活動自粛。開館日や時間の短縮。
- ・利用者との外出活動はできなくなる。月1回のミーティング、勉強会は密になりどのように行うべきか検討中。
- ・活動の種類が多いので一概に言えない。これから、それぞれの分野で考えてもらう。
- ・すべての活動は感染予防しながら行うことになる。新たな方法を検討中
- ・今後、イベント回数は少なくなり活動範囲が狭くなる
- ・メンバーのモチベーション低下
- ・会員数の減少等。退会者増加するのではないかと心配。
- ・他の要因もあり活動を終了、解散、合併などを検討している。